



# 臨床腫瘍センターだより



第8号(2008年12月8日)



## 「がん看護専門看護師として活動しています！」

看護学部応用看護学部門 がん看護専門看護師 三浦 浅子

### <自己紹介>

私は、4月より応用看護学部門に講師として配属され、主に附属病院看護部でコンサルテーション型のがん看護専門看護師の候補生として活動を行ってきました。本年度、日本看護協会専門看護師認定試験に合格し、正式に**がん看護専門看護師**の活動ができるようになりました。

#### ◆専門看護師 (Certified Nurse Specialist: CNS) になるには？

日本看護協会が定める専門資格で、看護系大学院課程修了者で専門看護領域での実務研修が通算5年以上（1年は修士課程修了後の実務研修）を有し、認定審査（書類審査通過後口頭試問）に合格しなければなりません。私は、三重大学大学院の「がん看護CNSコース」で学びました。

#### ◆これまでの簡単な経歴

長年北東北の赤十字病院で看護師長として、消化器内科、呼吸器内科、血液内科病棟でがん患者や家族に関わり、診断期から死に至るまでがんと共に生きる患者を支援し、患者や家族と医療者のパートナーシップを育んできたと思っています。また、多くの看取りも経験したこともあり、ターミナルケアを専門領域とし家族看護を主に担当してきました。



### <がん関連の専門看護師・認定看護師の役割>

応用看護学部門には、小児看護専門看護師、がん看護専門看護師、精神看護専門看護師（候補生）の3名がおり、附属病院看護部との兼務辞令を頂いています。また、がん性疼痛看護、皮膚排泄ケアの**認定看護師**<sup>※1</sup>の活動は心強く思っています。今後、がん看護専門看護師も1名候補生として活動を行っていく予定です。現在、がん化学療法看護と緩和ケア認定看護師が研修中です。

下の表は専門看護師と認定看護師の具体的な役割です。専門看護師が看護学部に配属され、活動を行っていることで教育・研究にも幅広く活動ができる利点があり、新しい配置として注目されています。

専門看護師	認定看護師
①実践：個人（家族）、集団に対して卓越した看護を実践する。 ②相談：看護ケア提供者に対し <b>コンサルテーション</b> <sup>※2</sup> を行う。 ③調整：必要なケアが円滑行われるために、保健医療福祉に携わる人々の調整を行う。 ④倫理調整：個人（家族）、集団の権利を守るために倫理的な問題や葛藤の解決を図る。 ⑤教育：看護者に対してケアを向上させるための教育的機能を果たす。 ⑥研究：専門知識・技術の向上及び開発を図るために実践の場における研究活動を行う。	①実践：個人（家族）、集団に対して熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。 ②相談：看護者に対して <b>コンサルテーション</b> <sup>※2</sup> を行う。 ③指導：看護実践を通して看護者に対して指導を行う。  *役割として3つですが、倫理調整、教育、研究にも携わることもある。



詳しくは日本看護協会ホームページをご参照ください。

※1 認定看護師：日本看護協会が定める認定資格。同協会の資格審査が必要で、6ヵ月専門教育機関で教育を受け、筆記試験に合格することが必要。

※2 **コンサルテーション**：相談者が主体的に実践できるように支援すること。

(裏面へつづく)

## <今後の課題>

1. 化学療法を受ける患者が、自らの症状をセルフケアできるような、患者（家族）の指導体制を整えること
2. 緩和ケアチームの一員としての活動を広げていくこと（主に家族支援）
3. 相談支援センターの一員として患者や家族の医療相談を行うこと
4. がん患者（家族）の倫理調整を行うこと

今後、がん患者のがん看護の質の向上に向けて、専門看護師と認定看護師との連携と調和を図って行きたいと思っています。また、チーム医療を担っているがん看護専門看護師として、今後も研鑽を重ねていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

■専門看護師・認定看護師の詳しい活動の紹介や依頼方法については、電子カルテの<専門看護師・認定看護師会、2008/12/3更新>をご覧ください。

■がん看護に関する問い合わせは、看護学部棟5階540研究室/三浦までご連絡ください。  
Tel/547-1857（内5526）Mail/[amiura@fmu.ac.jp](mailto:amiura@fmu.ac.jp)



## ～外来化学療法室移転のお知らせ～

平成21年1月5日（月）より、病院棟3階養護学校隣（旧医療物品供給センター）に移転し運用を開始します。移転に伴い、ベッド・チェアを13床から20床へ増やし、抗がん剤のミキシング室も併設されます。また、トイレも完備され、患者さんにとってよりよい治療環境を目指していきます。場所の変更について患者さんへのご案内にご協力をお願いします。



## <11月の外来化学療法室利用状況> 利用者数 190名

（単位：人）

消化器外科Ⅰ	35	消化器内科	17
消化器外科Ⅱ	12	婦人科	5
乳腺外科	68	泌尿器科	2
呼吸器科	25	血液内科	2
呼吸器外科	0	小児科	23
皮膚科	1	合計	190



## お知らせ

### Cancer board開催案内

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでもご自由に参加できます。

呼吸器	12/ 8(月)	19時
消化器	12/11(木)	19時30分
乳腺	12/17(水)	19時
Pediatric Tumor Board	12/18(木)	19時

### 臨床腫瘍セミナー開催案内

演題：『医療者のための抗がん剤の安全な取り扱い』  
講師：秋田大学医学部保健学科 基礎看護学分野  
教授 石井 範子先生  
日時：2008/12/16（火）18時～19時  
場所：第二臨床講義室

※大学院生は共通必修科目（規定の8）に該当します。